

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	DREAM KIDS CLUB 2				公表日	2026年1月26日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		机を置きスペースを分けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		人数に対して適切に調整しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		トイレに段差はあるが、使用する際には職員が付き添い介助しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		業務前及び業務後に清掃や消毒を行っています。療育の一環としても児童が清掃活動を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	安心安全に過ごせる空間にしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	職員間でのミーティングをし話し合う場を設けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			集計表をもとに、事業所の業務改善に努めて参ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	各職員が意思疎通できるよう共有等も欠かさず行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		今後第三者委員について検討予定です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		内部・外部研修どちらも多く実施しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		複数の職員と情報交換し、向上心と成長意欲を持ち児童発達支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		子どもたちにとって適切な支援とは何かを考え個別支援会議を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		個別支援計画を共有し個別支援計画に沿った支援が行われています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		常にアセスメントシートを使用し情報共有を行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		子どもの個性を大切に、一人ひとりに合わせた支援を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		曜日ごとに担当者を変えて、プログラムに変化を持たせています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		活動内容を複数のスタッフで考え、表にし内容が偏らないよう、楽しみながら様々な活動が出来るように工夫しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		将来の自立を見据え、日常生活スキルや社会性を育むようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		職員全員で、前日の振り返り、公園活動等の担当や、必要な伝達事項はその日のうちに共有するようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	ノート等を用い、常に伝えあい共有するようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の支援記録や、活動記録、課題の経過等を残し、記入しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年ごとに作成し、それぞれの障害に応じてサポートをし改善変更をしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		相談支援事業所や学校などそれぞれの機関が連携し行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		各機関、医療提携している病院と連携を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	子ども達が様々な遊び、学びの機会を通じ共に過ごし、成長する事が出来る社会を目指し地域社会に参加出来るように支援しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	就学支援シートや、相談支援事業所を通し、情報共有を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	必要に応じて面談等を行っています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		公園や、公共の施設等で交流を図っています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		日々の様子は、連絡帳や送迎時に伝え、定期的に面談や電話でお話をしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	必要に応じて面談等を行っています。		
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		利用契約時に、詳細説明をしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		契約時の面談で時間をかけ説明し、疑問や質問に答える機会を設けています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		時間をとり説明し、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		随時適切な対応に努めています。	

護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		保護者会を開催出来ておりませんが、今後保護者会を開催し、日々の様子、支援の方針、などを報告していく予定です。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		随時適切な対応に努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1		活動スケジュールを次月に配布しております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			鍵付きの書庫に保管し、シュレッダー等を使用しています。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			子どもには絵カード等を利用し、意思の疎通、伝達を図っています。行動の変化や気付いた事を保護者に伝え、情報共有
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		今後検討してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			職員全員周知し、研修しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			年に2回避難訓練を行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			契約時の面談で時間をかけお聞きし、事業所の対応についても説明、同意を得ています。服薬情報は、個別のファイルや事務所に一覧
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			保護者の方からの指示で対応し、職員全員でアレルギーについて周知しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			チェックシートに記入しています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			マニュアルを作成、配布予定です。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			ミーティング等で話しあい記録に残しています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			虐待防止研修を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			保護者への確認や説明を行い、個別支援計画に記載しています。	